

編集後記

- ◆自分の家の近くにある名所や観光スポットなどには、いつでも行くことができると思い、なかなか足を運ぶことがありません。今号で掲載した「地域づくりフィールドワークの報告記事」では、市原市にある上総国分寺跡が紹介されています。上総国分尼寺は奈良時代に創建され、寺域は日本一とのこと。中門と金堂を結ぶ回廊が創建当時の作り方で復元されています。国分尼寺のそばに建てられていた国分寺には、高さ63m以上の七重塔があったようで、法隆寺の五重塔の二倍の高さだったそうです。フィールドワークの参加者は、身近な市原市に東日本の一大拠点が存在していたことに一様に驚いていました。
- ◆縄文時代の貝塚は、日本全国で2,400ヶ所ほど発見されているそうです。そのうち、千葉県内に約700ヶ所、千葉市には約120ヶ所が集中する、世界にも類をみない貝塚密集地帯になっているとのこと。今号の「シリーズ千葉の地域紹介」で掲載されている、千葉市の加曽利貝塚は日本最大級の規模の貝塚で、今から約5000年前の縄文時代中期から約3000年前まで使われ続けたそうです。歴史を紐解けば、市原市や千葉市は縄文時代や奈良時代の社会においては地方の大規模な中心地だったわけですが、そのことを知らない県民も多いと思います。
- ◆身近な千葉県内のことでも知らないことはたくさんあります。それぞれの地域では、その地域の特性にあわせて、住民がその課題解決にむけて知恵を出し合い、様々な取り組みを進めています。本号では、市原市南部地域の地域おこしや千葉市美浜区の生活支援コーディネーターの取り組みについて報告していただきましたし、井上先生の「シリーズ千葉から日本社会を考える」では、日本社会の中でこれから大きな問題になるであろう「外国人労働者の受入れ拡大策の本来のあり方」について言及していただきました。それぞれに地域での取り組みのヒントとなるような情報を今後も提供できるよう努めていきます。
- ◆次号は、「災害列島の中の高齢者と防災」をテーマとする講演録をメインとした企画を予定しています。災害が発生した際に、高齢者、障害者、子ども、女性など社会的弱者や災害時要支援者の避難施設への受入れ体制や地域住民との連携など避難支援のあり方について、考えていきたいと思います。ご期待ください。

事務局長 佐藤 晴邦

自治研ちば 既刊案内



2018年10月
(vol.27)

- 巻頭言 千葉県立保健医療大学 健康科学部看護学科 講師 成 玉恵
- 自治研センター講演会
地域に希望を〜人口減少時代の地方財政を問い直す
埼玉大学大学院 人文社会科学研究所 准教授 高端 正幸
- シリーズ「千葉から日本社会を考える」
千葉・東アジア・世界―連動する地域と世界（市民運動の役割）
島根県立大学名誉教授 井上 定彦
- 県議会報告
山武長生夷隅医療圏の現状と課題
千葉県議会議員（茂原市選出） 横堀喜一郎
- 公共の担い手 千葉市日中友好協会の活動について
―民間・草の根の友好活動の必要性について―
千葉市日中友好協会会長 布施 貴良
- シリーズ千葉の地域紹介
緑豊かな環境で、安心して子育てができる街、八千代市に
八千代市広報広聴課 研究員 井原 慶一
- 新聞の切り抜き記事から 編集部
- 今期の入手資料 編集部
- 一般社団法人 千葉県地方自治研究センターの概要（会員募集）
- 編集後記 事務局長 佐藤 晴邦

バックナンバーの申し込みは当研究センターまで 1部800円

自治研ちば VOL.28

2019年2月20日発行

発行 一般社団法人

千葉県地方自治研究センター

〒260-0013 千葉市中央区中央4-13-10

千葉県教育会館新館6階

自治労千葉県本部内

TEL 043-225-0020

FAX 043-225-0021

編集 佐藤 晴邦

印刷 (株)メロウリンク企画

頒価 800円（送料別途）